



第 199 号

平成22年 5 月

発行 磐 梯 町 議 会
福島県耶麻郡磐梯町
大字磐梯字中ノ橋1855
☎ 0242-74-1219
編集 議会広報委員会



開通した磐梯町駅東口自由通路

春 号



3 月定例会報告

* 当初予算	2ページ
* 主なる事業・特別会計	3ページ
* 補正予算・条例改正・請願・意見書	4ページ
* 施政方針	6ページ
* 臨時会	7ページ
* 一般質問	8ページ
* 議会の動き	16ページ

3月定例会

防災行政情報システム整備事業などの

平成22年度予算案を可決

一般会計予算額

32億3,864万円

特別会計予算額合計

11億5,645万円

水道事業会計

1億1,615万円 (収益的収支)

8,846万円 (資本的収支)

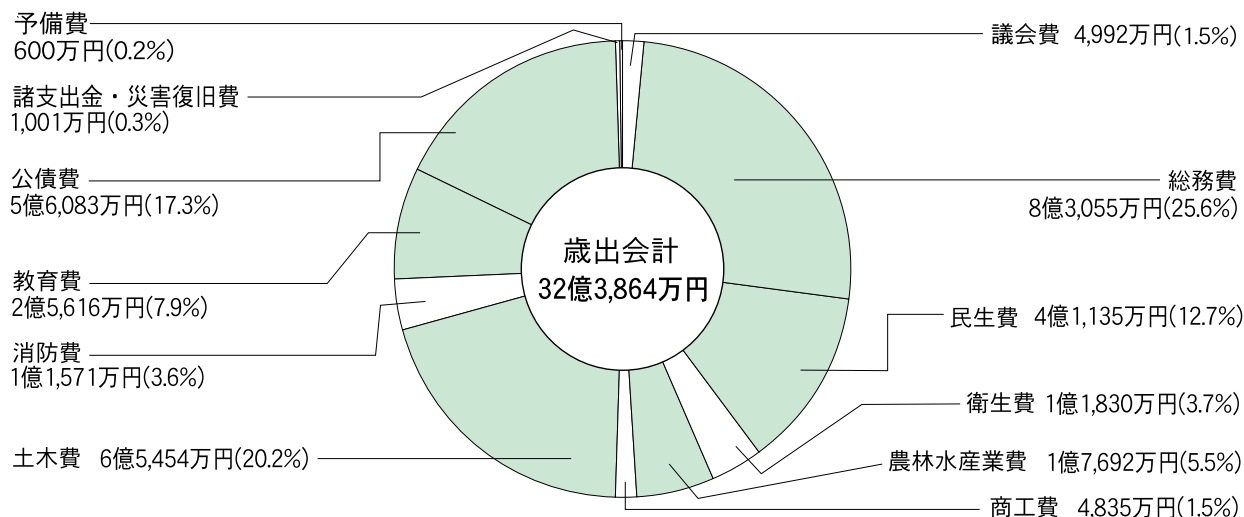
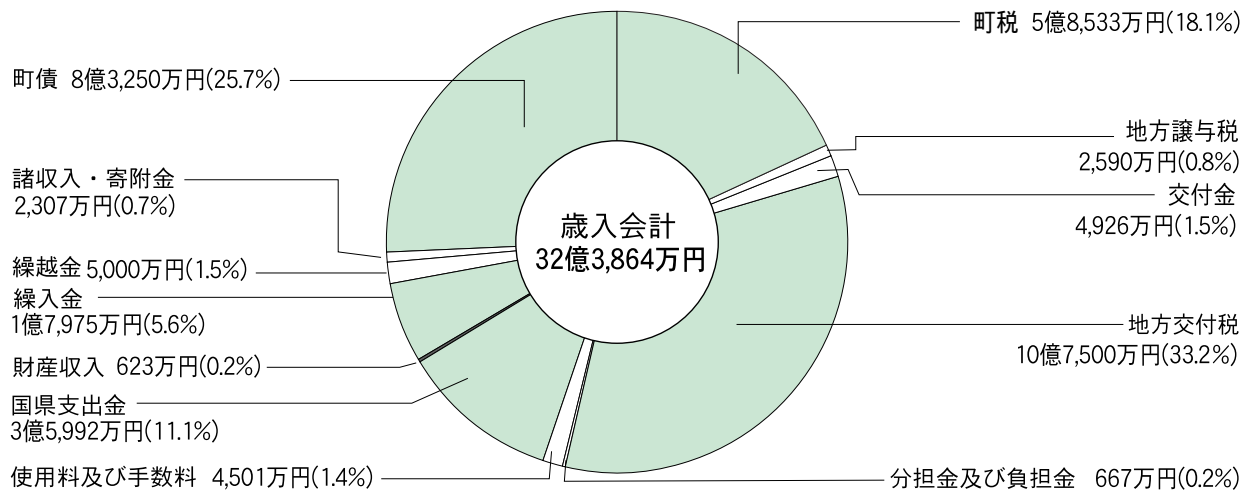
平成22年3月定例会は、15日から25日までの会期で開催されました。新年度予算や条例制定など全43議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

一般会計

平成21年度当初予算と比べて、2.3%、約7千万円の増となっています。

歳入では、基金からの繰入金が減少し、地方交付税や町債が大きく増加しています。

歳出では、土木費や教育費が減少し、防災行政情報システム整備事業を含む総務費の割合が、大きく増加しました。



特別会計予算

国民健康保険	4億6,077万円
老人保健	21万円
後期高齢者医療	4,082万円
介護保険	3億4,611万円
簡易水道	1,292万円
墓地公園事業	65万円
公団分収造林	2万円
農業集落排水事業	9,449万円
林業集落排水事業	1,406万円
公共下水道	1億7,941万円
個別生活排水事業	395万円
七ツ森地区下水道事業	304万円
水道事業 収益的収入	1億1,615万円
収益的支出	9,660万円
資本的収入	220万円
資本的支出	8,846万円

平成22年度の主な事業（予算額1千万円以上）

道の駅管理運営事業	1,122万円
防災行政情報システム整備事業	3億810万円
生活福祉バス運行事業	2,237万円
老人福祉対策事業	1,290万円
心身障害福祉事業	3,928万円
後期高齢者医療事業	5,475万円
児童福祉事業	2,359万円
保健予防事業	2,912万円
塵芥し尿処理事業	3,553万円
中山間地域直接支払交付事業	6,373万円
ふるさと雇用再生特別基金事業	2,179万円
道路橋梁維持事業	1億482万円
東松山地区周辺整備事業	3,570万円
若者等定住住宅建設事業	5,051万円
まちづくり交付金事業	3億2,676万円
史跡整備事業	4,577万円
国保事業勘定繰出金	1,714万円
介護保険事業勘定繰出金	4,376万円
農業集落排水事業繰出金	1,797万円
林業集落排水事業繰出金	1,056万円
公共下水道特別会計繰出金	1億267万円

予算案の審議

Q 財政調整基金を、何に充当するために取り崩したのか。財源不足になることがわかっていいる予算編成ではないのか。

A 過疎債6億円の借入上限を設定し、6億円に対する不足額ということ、約1億円の財政調整基金を取り崩して充当する予算としました。



反対討論

・ 防災行政情報システム整備事業に多額の投資をし、さらに今後永年にわたり多額の維持費がかかるのでは、財政に圧迫をきたすため、この予算案に反対である。

・ まちづくり交付金事業の山道交流館建設は、公民館や老人福祉センターが手狭という状況でもなく、緊急に必要なものではない。もっと暮らしに役立つことを予算化すべきだ。

賛成討論

・ 町民の命を守り、生活に影響する内容が組み込まれており、早期執行のためこの予算案に賛成する。

・ 町の中央部だけでなく、東部、西部地区にもコミュニティセンターを整備していく上で、交流館建設はこれからのまちづくりが必要であり、この予算案に賛成する。

小学6年生までの 窓口医療費を無料化！

国民健康保険条例を改正

療養給付を受ける際、一部負担金を要しないこととなっていた対象者が、これまでの就学前の乳幼児と妊娠5ヶ月以上の妊産婦に加え、4月1日から小学1年生から6年生までの児童も対象になりました。

質疑

Q 新たに対象になる小学生の人数は？

A 197人で試算しました。

Q 他の市町村では、ほとんどが中学生までが対象である。どのような試算をしたのか。

A 町には国保加入の被保険者のデータしかないので、その実績により算出しました。それぞれの市町村の医療状況もあるため、今後の医療費の推移を見極めたいかなければならないと考えます。

体育施設の料金を改定

町体育施設条例の制定

磐梯ふるさとの森公園施設条例を改正

町民体育館、町民運動場、町民テニスコートの使用料はこれまで、半日、一日、夜間の区分、利用人数の区分などで複雑な設定になっていましたが、4月1日から一律1時間単位の料金に改定し、わかりやすい料金体系になりました。

町体育施設の利用料金の改定に合わせて、おおり公園テニスコートの使用料も改定されました。

また、それぞれ異なる条例で管理していたものを、3施設をまとめて一つの条例としました。

※体育協会加入団体等は無料です。



施 設 区 分		利 用 区 分			使用料・1時間	
町民体育館	アリーナ	半 面	体育的使用	生徒等	420 円	
				一 般	840 円	
		全 面	体育的使用	生徒等	840 円	
				一 般	1,680 円	
			体育外使用	非営利的	7,350 円	
				営利的	15,750 円	
			ステージ			1,050 円
			放送設備			840 円
町民運動場					525 円	
町民テニスコート（一面）					420 円	
おおるり公園テニスコート					420 円	

平成21年度補正予算の概要

会 計	補 正 額	補正後の予算総額	主 な 内 容
一 般 会 計	3,222万9千円	38億8,456万0千円	町税・国県支出金・町債・基金 電算費・まちづくり交付金事業
国民健康保険特別会計	3,197万7千円	4億7,447万4千円	国県支出金・療養給付費
後期高齢者医療特別会計	4万7千円	4,097万7千円	保険料・納付金・委託料
介護保険特別会計	4,018万0千円	3億7,248万1千円	国県負担金・保険給付費
簡易水道特別会計	△253万2千円	3,811万0千円	事業費・施設工事費
水道事業会計 資本的支出	△200万0千円	1億1,862万5千円	施設工事費
墓地公園整備事業特別会計	0	268万9千円	使用料・繰入金・管理料
農業集落排水事業特別会計	△596万3千円	1億3,310万5千円	分担金・事業債・施設整備費
林業集落排水事業特別会計	△225万0千円	1,434万5千円	使用料・修繕費
公共下水道特別会計	△1,202万2千円	2億2,639万2千円	受益者分担金・使用料・整備費
個別生活排水事業特別会計	△35万0千円	390万7千円	受益者分担金・繰入金・修繕費
七ツ森地区下水道事業特別会計	0	314万2千円	使用料・繰入金

条例改正

■**重度心身障害者医療費の給付に関する条例の改正**

肝炎対策基本法の制定により、心身障害者の規定に肝臓機能障害のある方を加えるものです。

■**農業集落排水処理施設条例の改正**

大谷地区農業集落排水処理施設の処理区域に赤枝、石田、立脇、寺ノ前等が加えられました。

■**下水道条例の改正**

■**七ツ森地区下水道条例の改正**

■**個別生活排水事業条例の改正**

使用料の納入期限について、月末の日が休日の場合はその翌日までとし、また3月は25日まで、12月は28日までとなりました。

■**消防団設置等に関する条例の改正**

第二分団の第三班（源橋）と第六班（長峯）の統合により、定員数が改定されました。

副町長の選任

前副町長の退任により、新たに葉坂聖一氏が選任されました。



議決されたその他の議案

- 墓地公園整備事業特別会計条例の改正
- 地域福祉基金条例の改正
- 文化財保護条例の改正

現地調査



請願・意見書

次の請願が採択されました。

■米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願
(会津農民運動連合会)

■多重債務者対策の推進を求める意見書提出の請願
社会的セーフティネットの拡充に関する意見書提出の請願

■福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願
(日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻喜多方地区連合)

議員提出の意見書が可決され、それぞれの関係機関に送付されました。

□米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める意見書

□多重債務者対策の推進を求める意見書

□社会的セーフティネットの拡充に関する意見書

□福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

□核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書

町長施政方針

今年は磐梯町にとって町制施行50周年という大きな節目の年です。単に年月だけの積み重ねではなく、先人達が流した汗と努力の結晶です。私たちのふるさとを住民協働型のまちづくりを進めながら、真に自立したより豊かな町にするため、さらなる飛躍の年にしなければならぬと考えております。

急速に社会情勢が変化する時代に入り、時代を見誤れば、良い事業でも時代遅れとなり、その効果が失われてしまいます。

平成22年度の町政運営は、新たなまちづくりの重要な基盤になるものと強く確信し、自身の持てるすべての力を傾注してまいり所存です。予算編成にあたっては、現下の地方財政を取り巻く状況を踏まえ、通年予算であるとの考えを基本として対応しました。さらに、町振興計画との整合性を図るとともに、事務事業の優先性や熟度を精査し、「温もりと活力あるまちづくり」を推進するための施策を中心に、重点配分を行ったものであります。

「新しい時代を担う人づくりと誇りある文化の創造」

- ・幼小中一貫教育と英語指導の充実、国際教育交流の継続
- ・生涯学習、生涯スポーツの推進
- ・史跡慧日寺跡調査研究の継続



「自然豊かで活力あるふるさとづくり」

- ・若者等定住促進のための住宅整備と企業誘致
- ・中心市街地の活性化
- ・まちづくり交付金事業による、駅前広場整備、交流館整備、案内板設置整備

「地域特性を活かした産業の振興」

- ・認定農業者の育成・支援と集落営農の組織化推進
- ・耕作放棄地対策の推進
- ・そばやパイプハウス栽培の振興
- ・道の駅活用による農業の振興
- ・雇用、就業機会の創出と支援
- ・町内の観光ルート作成や観光ボランティアの育成、広域観光ネットワーク形成の強化
- ・新たなイベントの企画による地域の活性化

「情報化社会と循環型社会の基盤づくり」

- ・防災行政情報システムの整備
- ・不法投棄防止パトロールの強化
- ・ごみの資源化の徹底

「町民誰もが健康で生きがいの社会づくり」

- ・高齢者の社会参加の促進及び障害者に優しい地域づくり
- ・各種検診と健康教育、体力増進、食生活改善の充実

「安全で快適な暮らしと災害に備える環境づくり」

- ・母子保健の推進と子育て支援
- ・保健指導による医療費の削減
- ・介護保険事業と介護予防の充実
- ・町内生活福祉バスの充実
- ・小学生の医療費無料化実施とインフルエンザ予防接種の助成
- ・保育所と児童館の充実

- ・東松山地区の道路整備
- ・町民対象の若者住宅の建設
- ・橋梁の安全対策の推進
- ・下水道事業の推進と料金体系の一元化の検討
- ・水道事業の安定供給
- ・地震ハザードマップ作成による地域防災体制の確立

「協働によるまちづくりと行政運営の効率化」

- ・補助金等の総点検、遊休地の売却や有効活用等による行政改革の推進
- ・住民参加による協働のまちづくりの推進

町 政 問 答

(一般質問)

(登壇順)

－ 鈴木 貞 男 議員 －

1. 高校生の就職状況について
2. 地域産業促進について

－ 遠 藤 将 夫 議員 －

1. 過疎地域自立促進特別措置法の延長に伴う事業について
2. 企業感覚の行政運営について

－ 佐 藤 貞 夫 議員 －

1. 医療における町民負担の軽減を
2. 赤枝地内の県道7号線拡張に関して

－ 吉 田 徳 昭 議員 －

1. 地域活性化センターの利活用と農林業の振興について

－ 鈴木 久 － 議員 －

1. 施設環境整備事業の取組みについて
2. 会津耶麻町村会の交流について

－ 穴 澤 勝 俊 議員 －

1. 国民健康保険証のカード化について
2. 防災行政情報システムについて

－ 鈴木 和 意 議員 －

1. 町長の政治姿勢について
2. 義務教育における就学援助制度の拡充について

－ 佐 藤 孝 則 議員 －

1. 農業振興計画の策定について
2. 保育所の入所基準の緩和について

臨時会

1月29日

歳入の主なもの

・庁舎維持補修工事費

750万円

・光ファイバー移設委託料

116万1千円

・児童館施設維持補修工事費

127万8千円

・新型インフルエンザ予防費

415万5千円減

・道路維持補修工事費

680万円増

・大曲七ツ森線道路改良工事費

2601万円

・消防指令車購入費

120万円増

・小学校施設維持補修工事費

1569万円

・中学校施設維持補修工事費

245万円

◆一般会計補正予算
歳入の主なもの
・地域活性化経済危機対策臨時交付金
126万8千円減
・地域活性化きめ細かな臨時交付金
5796万3千円増

歳入の主なもの

・幼稚園施設維持補修工事費

295万6千円

・中央公民館施設維持補修工事費

310万円

・磐梯山慧日寺資料館施設維持補修工事費

650万円

・町民体育館施設維持補修工事費

120万円

・公債費償還金利子

151万3千円

◆農業集落排水事業特別会計補正予算
・施設整備費 9万5千円増

3月30日

◆特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例の改正

◆磐梯山慧日寺資料館条例の改正
磐梯山慧日寺資料館に、「名誉館長」を置くことができることとし、その報酬について定めるものです。
また、休憩施設が整備されたため、条例に加えられました。

◆一般会計補正予算

歳入の主なもの

・地方消費税交付金

273万8千円増

・特別地方交付税

5792万7千円増

・まちづくり交付金事業債

150万円減

歳入の主なもの

・まちづくり交付金事業施設工事費

176万円減

・公債費償還金利子

130万8千円減

・財政調整基金積立金

6400万円増

一般質問



鈴木 貞 男 議員

町内高卒者の就職状況は

(町長)

現時点で町内高卒就職希望者に未内定者はいない

【質問】長引く不況により就職内定が大変厳しい状況にあります。新規高卒者の就職内定率は、最近5ヶ年で最も低い状況において、町内高卒者の地元就職希望者と内定者は現時点で何名でしょうか。

【質問】未内定者がいれば、その対策を示せ。

【答弁】現在未内定者はいませんが、町内の企業が下向きの状況から一日でも早く脱出をし、元気を取り戻すために町として応援できることについては全精力あげて応援をしていく考えです。

また会津地方17市町村と7経済団体で構成する会津地域雇用推進協議会の活動により、地域雇用の安定を図ってまいります。

【答弁】本年1月末現在の福島県内における新規高卒者の就職内定率は、福島労働局発表では76・7%で、前年同期を13ポイント下まわり、最近5ヶ年で最も低い雇用状況になっています。町内高校生は今年40名が卒業予定で、このうち就職希望者は14名で全員内定しています。

地場産業の促進を

答弁＝町長

【質問】昨年8月、地域住民の大きな期待を受けて「道の駅ばんだい物産館内

の駅ばんだい徳一の里きり」が華やかにオープンしました。今後地元磐梯町の素材を生かした、オリジナル商品の開発を目指し、町内産の米を使った米粉の商品開発についてどのように考えているのでしょうか。

【答弁】米粉を利用した商品については一部で販売していますが、あまり知られていないのが現状です。小麦との価格差、加工技術が普及していないなどの課題もあり、利用拡大が思うように進んでいない現状です。米粉は加工が難しく採算性等の観点からみても取り組みがなかなか難しい状況にあります。町としてのオリジナル商品の開発にあたっては、米粉だけではなく町に合った取り組みをしてまいります。



道の駅ばんだい物産館内

一般質問

— 遠 藤 将 夫 議 員 —



過疎地域自立促進特別措置法の延長に伴う事業実施を

(町 長)

バス待合所は公共性の高い停留所に設置を考えている

【質問】過疎地域自立促進特別措置法が改正され、さらに6年間延長されたことは大変意義深いことです。

そこで過疎債を使って、住民のための身近な交通手段のソフト事業として、町内生活福祉バス停留所の、待合室の設置事業に取り組んでどうか。

【答弁】待合室は公共性の高い停留所に設置してきています。その他の停留所は、各行政区の払い下げをした旧保育所用のバス待合所を活用するなど、地区の自主的な協力や工夫によって行われています。今後も事業内容の種別を問わず、基本的に公共性の高い停留所に設置する考えで進めます。

【質問】住民の将来にわたる安全安心な地域形成を図るため、集落の維持の取り組みではごみステーションの設置や、各行政区の公共施設の充実化、環境整備として公共施設のリフォームの

事業に取り組むべきと考えます。

【答弁】ごみステーションの設置や、行政区の公民館や消防屯所のリフォームなどの事業が過疎債の対象となる事業に拡大されるか、現時点ではまだわからない状況です。過疎計画を策定するにしても、基本的には町の振興計画がすべての計画の基本となるので、その方向で考えてまいります。

企業感覚を生かした行政運営を

答弁Ⅱ町長

【質問】税收の増を考えると、現在町は人口増加のため若者定住促進事業に取り組んでいます。また、若者の働く場の提供も必要で企業誘致等の取り組みも考えられるが、磐梯町を企業とした場合、どのように運営

するか町長の考えをお伺いします。

【答弁】民間の活力を活かしながら、第3セクターの設立や公の施設においては指定管理者制度を取り入れながら、行政の効率化や経費等の削減を図ってきているところです。

【質問】町長の運営に関する考えを現在どのように職員に伝達しているか、コミュニケーションは取れているのか、トップダウン方式にやっているのか。また職員からのアイデア提案型の取り組みをしているのか。

【答弁】貴重な町税を預かる以上、無理、無駄のない事務事業を心がけています。普通建設事業の場合、特に一般財源でなく国庫補助、なければ県補助、そして有利な過疎債を財源として充て事業を行うよう、課長会議でも度重なる伝達をしています。



バス待合所

一般質問



佐藤 貞夫 議員

医療における町民負担の軽減を

(町長)

小学6年生までの子どもの医療費を無料化する

【質問】磐梯町は、県内59市町村の中で、子どもたちの医療費の無料化の対象年齢が一番後れている自治体になっています。磐梯町が後れている原因は何だと考えているのでしょうか。

この額は他の市町村と比べて町長として多いと思っ
ているのか、少ないと思っ
ているのか。また、基金を取
り崩して町民の負担の軽減
を図るべきではないか。

要であることから、保健事
業、疾病予防対策を充実さ
せて医療費の抑制を図りな
がら国保税の抑制に努めて
まいりたいと考えます。

【答弁】子どもは町の宝であ
り、将来を担う子どもたち
の健やかな成長は町の願い
でもあるとともに、安心し
て子どもを産み育てられる
環境づくりが重要であるこ
とから、現在、入院と外来
の両方を就学前まで無料と
していましたが、平成22年
度から小学6年生まで医療
費の無料化の拡大を行い、
子育て支援に努めてまいり
ます。

【答弁】町としては現在の基
金の額は、所期の目的基金
として妥当性があるものと
考えています。

基金は、所期の目的が達
成されたことに伴い、平成
12年から国保特別会計にお
ける繰越金は全額国保税に
充当し、被保険者の負担を
最小限に抑える努力をし、
平成21年度についても、繰
越金の7701万3千円を
国保税に充当し、前年度を
下回る税率としました。

【質問】国保の基金がわが町
には1億円ほどありますが、

国保税の引き下げは医療
給付費と比例関係にあり、
医療給付費の抑制が最も重

県道7号線拡張について

答弁＝町長

【質問】県道7号線改良工事
の進捗状況を伺います。

【答弁】昨年8月28日に関係
者説明会が開催されました。
現在一部の物件調査及び用
地取得を実施しています。

【質問】地元からどのような
要望があったのか。さらに
それを受けて、県に対して

どのような要望を出してい
るのでしょ

【答弁】事業を早期着手し、
子どもたちの安心・安全な
通学路を早く確保したいと
いう強い要望がありました。
県に対しては両側歩道の
県道拡張を要望し、そのよ
うな計画になりました。

【質問】接続する町の道路改
良計画はあるのか。

【答弁】現段階では、町道の
改良計画はありません。

【質問】移転を余儀なくされ
た人への補償及び、代替地
の確保を、たとえ県の事業
であっても町が携わって全
力を尽くすべきである。

【答弁】代替地の問題は県と
地元住民のかたがたとの橋
渡しをするなど、工事がよ
り円滑に進むための手助け
ができればと考えています。



赤枝地内

一般質問

— 吉 田 徳 昭 議員 —



地域活性化センターの利活用と地域産業の振興について問う

(町 長)

物産館との有機的連携により産業振興を図る

【質問】地域活性化センターは中山間地域総合整備事業の一環として、国の補助事業で建てられた施設で、地域内外の利用者を幅広く確保し中山間地域における農業、農村の活性化を図る上で重要と考えます。そこで、地域の活性化と産業の振興を図るために、施設の利活用をどのような方向で考え、進めていかれるのか、また来訪者のサービスを含めて町長の考えを伺います。

【答弁】地域活性化センターは、地域農業振興のための会議や集会、地域特産物の開発普及のための実習、研修、講習会等、さらに農産物の調理加工などを行うものです。これらの活動の具体的な内容は、中山間地域総合整備事業実施要綱に具体的に示されており、施設内での物品等の販売は制限が設けられていましたが、昨年10月に活性化施設内における販売スペースの設置に関し、要件が緩和されま

した。

町は国からの通達を受け、地域活性化センターにおける農産物の販売を実施し、施設の有効利用と利用者数の増加、さらには農業所得の向上を、物産館との有機的連携により産業振興を図ってまいりたいと考えます。

【質問】振興計画21～23年の開発事業では、地域特産品開発事業はまちづくり交付金事業として計上されている

が、予算化はされていない。

地域特産を活かした産業の振興と地産地消の開発に取り組むなど農産物生産者と地域の方と連携を強化し、農産品の開発、研究と専門指導員を招き、農村の活性化を図るため、地域農業振興計画を策定し、センターの活用と地域特産品の加工、開発、販売を含め今後の対策を伺います。

【答弁】地域農林業振興計画の策定については、町全体で進められている磐梯農業振興地域整備計画に基づき実践しているもので、当面は既存の計画に沿って進めていきたいと考えます。

今後は地域活性化センターにおいて農産物の販売を行っていく考えですが、販売にあたっては、これまで町が直接活性化センターを管理していた内容を見直す必要があり、農商工の連携を実践したものに変わっていく必要があります。

町としては販売をより積極的なものにするために、(株)会津嶺の里に物産館と併せて管理を委託し、道の駅全体の中で農産物の加工と販売を実践していきたいと考えています。



地域活性化センター内部

一般質問



鈴木 久一 議員

施設環境整備事業の取り組み状況を示せ

(町長)

有利な財源の確保を視野に入れながら環境整備を図る

【質問】児童館の建設については青少年育成を行う意味が必要であり、早期建設について、町長の見解を伺います。

【答弁】昼間保護者のいない家庭の幼稚園児と小学生の低学年の児童を対象に、健全育成と子育て支援を図る目的でスタートしました。

現在は37名の登録児童がおります。施設が手狭なために児童が伸び伸びと生活することができない状況であり、有利な財源の確保を視野に入れながら、環境整備を図ってまいります。

【質問】おおり公園の活用について今後の町の取り組みを明確に示されたい。

【答弁】イベント広場の活用については、広場の立地や環境を踏まえた中で、あらゆる条件を含めて計画する必要があると考えています。

【質問】中学校の建設について、老朽化に伴い早期に着工すべきと提言してきましたが、多額の費用を要することから、一案として二つの小学校を統合し、第二小学校をリフォームして中学校にすべきと考えます。

【答弁】学校の統合については従来の方針に沿って、これからも幼小中一貫教育の理念のもと、それぞれの地

域の特性にあった特色ある学校運営をしていく考えでありますので、ご理解いただきます。

会津耶麻町村会管内の交流を図れ

答弁Ⅱ町長

【質問】会津耶麻町村会の加入町村による交流会を、町民参加型のスポーツイベントとして開催すべきだと思います。

【答弁】交流事業については、各首長さんにおいていろいろな考えがあると思いますが、今後各首長さんがたの意見等をお聞きしながら、交流実現に向け努めてまいります。



児童館

一般質問

— 穴 澤 勝 俊 議員 —



国民健康保険証のカード化を進めるべきと考えるが

(町 長)

10月に個人証へ切り換える準備を進めている



(カードはイメージ)

【質問】現在、国民健康保険証は1世帯に1枚交付されていますが、家族被保険者も一緒にの保険証なので不便である。

保険証がカード化になれば個人ごとに1人1枚のカードになるので、同じ時間に別々の医療機関等を受診する際に、家族一人々が保険証を提示でき、利便性が高いためカード化を進めるべきと考えます。

【答弁】個人証の作成にあたり、被保険者の負担軽減が可能となったことから、今年10月の被保険者証一斉更新時に個人証へ切り換える準備を進めています。

防災行政情報システムの今後のスケジュールは

答弁〓町長

【質問】防災無線に替わる防災行政情報システムは、行政からのお知らせや防災の情報などを映像・音声・文字を通して素早く正確に伝えることができ、告知放送時に外出していたり聞き逃したりした場合でも、後から再び情報を得ることができ大変利便性があると思われます。

今後、実施するとなれば、具体的なスケジュールはどのような段階取りで進んでいくのでしょうか。

【答弁】具体的なスケジュールや説明会の日程など詳細までは、現在のところ定まっていますが、農繁期な

どの説明会開催は避けたいと考えます。できるだけ早い時期に、多くの町民の皆さんにご理解をいただけるような時期を設定し、説明会等を開催してまいります。

【質問】地域情報化基本計画の策定にあたっては、平成19年12月に住民アンケートの結果を踏まえて取り組んできたと思われますので、今回も防災行政情報システムに關しての町民アンケートを取って、その結果を見て対策を講じてはと考えるが、町長の考えを伺います。

【答弁】過去2回のアンケート結果にも現れているように、防災情報は住民が最も重要で、最も必要な情報であると考えます。このたびの事業については住民の意向に基づくものとしてご理解いただけるものと考えますので、改めてのアンケート実施については予定していません。



鈴木和意 議員

町長の政治姿勢をただす

(町長)

常に町民の生活向上に努めている

【質問】町長は着任以来8年目を迎え「温もりと活力」を理念とした町づくりをめざし、小さくとも輝く町づくりの前進の途上にある中、町長に対する少なからぬ町民からの疑心の声が流言されており、その政治姿勢をただします。

カナダオリバー市表敬訪問に、金堂建設請負業者と同伴同行した政治的、道義的責任の説明を求めます。

【答弁】お質しの業者は、以前より取引でバンクーバーから木材の調達をしており、近々バンクーバーに行く予定と聞いていたので、オリバーのロン市長の知人の木材事業者を紹介してもらうことで、直接間接を問わず磐梯町とオリバー市の経済

交流に結びつくとの考えのもとに、表敬訪問に合わせ同行したものです。

【質問】職員の英知と創意を十分発揮させる人材育成と、全体の奉仕者としての意識啓蒙をどう図られるのか。

【答弁】組織は人であると常々考え、人材育成計画等により、計画的に職員の能力開発や政策力形成などの研修を実施しており、職員からの有用な提案があれば生かしてまいりたいと考えています。

【質問】来庁者から窓口対応の不評があるが、サービス精神の向上と町民の声を町政に反映させる対策は。



役場窓口

【答弁】窓口にはグループ長クラスを配置し効率的な接遇に配慮しており、カウンターの改善、来客用トイレの設置等サービス向上に努めています。また町のホームページ上では町長への意見、役場への質問や問い合わせなどができます。いましばらくこの制度を活用し状況を見極めたいと考えております。

義務教育における就学援助制度の拡充を

答弁 教育長

【質問】経済不況のもと家計の減収が深刻になっている中、子の教育にも影響し不安な教育環境にあります。義務教育は無償とする本旨に則り、学校教育法に基づいた「就学援助制度」の町における認定基準、該当者数、援助の内容を示せ。

【答弁】教育費の援助制度には、生活保護上の教育扶助と、就学援助費の支給対象となる要保護、準要保護の二つがあります。

生活保護費には就学援助費も含まれ県対応となっています。要保護児童生徒は、家庭の意思により生活保護を受けていない家庭の児童生徒で、準要保護児童生徒は、保護者が生活保護の規定に準ずる程度に困窮していると思われる家庭の児童生徒です。

平成21年度の認定者は小学校3名、中学校7名で、国の基準に沿って民生委員の助言のもと教育委員会認定しており、学用品はもとより、給食費、修学旅行費など教育活動全般にわたる援助となっています。

【質問】全保護者に対して制度と申請手続き等について、周知徹底が図られているのか。

【答弁】毎年学校説明会において保護者の方々に説明しています。今後も制度の周知や相談体制の充実を図ってまいります。

一般質問

— 佐 藤 孝 則 議 員 —



農業振興計画を策定せよ

(町 長)

現在定めてある整備計画と基本構想で対応していく



将来の展望できる農業政策を

【質問】農地法等の一部を改正する法律の施行、戸別所得補償制度等の農業を取り巻く環境が変わり、米価の下落もあり農業経営は苦難の連続です。農業の経営計画作成の困難は農業に関して将来の展望が見えないことだと思っています。

【答弁】町独自の振興計画を策定し、将来の展望を示すべきところですが、国の農業政策が見えてこない中、町としては磐梯農業振興地域整備計画と町の農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想に網羅されていると考えていますので、現時点においては計画と構想で対応していきたい方向であります。

【質問】景気の低迷で所得の低下、解雇等雇用環境の悪化は最たるものです。子どもの保育に関してもなかなか困難なことがあります。保育の実施基準に、「同居の親族が保育できないと認められる場合」とありますが、農業経営等の場合はたいへん微妙です。町は保育を希望している場合は、希望者全員の保育を受け入れるべきと思いますが、いかがですか。

保育所入所基準の
緩和を求める

答弁Ⅱ町長

【答弁】入所希望者全員を入所させた場合、保育に欠ける児童が入所できなかったり、待機児童も出てくることと想定されることから、今後も保育の実施基準に基づき、健全保育に努めてまいりたいと考えます。

若者定住住宅の建設を引き続き行い、子どもの増加を図っていることから、財政的な面もありますが、施設の環境整備や定数の見直し等も視野に入れて、まずはできるものから対応し、子育て支援をしてまいります。

議会の動き

2 月

- 1日… 議会広報委員会
- 7日… 佐藤雄平知事を励ます会
- 13日… 渡部恒三代議員新春の集い
- 22日… 福島県町村議会議長会定期総会
会津若松地方広域市町村圏整備組合議会
- 25日… 議員全員協議会
- 28日… 磐梯やま楽校総会

3 月

- 7日～11日… オリバー市表敬訪問
- 10日… 議会運営委員会
- 12日… 磐梯中学校卒業式
- 15日～25日… 3月定例会
- 19日… 磐梯幼稚園卒園式
- 21日… 舟引祭り
- 23日… 磐梯第一・第二小学校卒業式
- 25日… 大谷地区若者住宅竣工式
- 27日… 磐梯西部土地改良区通常総会
- 29日… 会津耶麻町村議会議長会議
- 30日… 臨時議会
保育所満了式
- 31日… 史跡慧日寺跡環境整備事業竣工内覧会
布藤堰土地改良区通常総代会

4 月

- 1日… 保育所入所式
町ゲートボール協会総会
- 6日… 磐梯第一・第二小学校・磐梯中学校入学式
- 9日… 議会広報委員会
- 12日… 磐梯幼稚園入園式
磐梯町駅自由通路開通式
- 13日… 会津地区東北横断道期成同盟会監査
- 15日… 警察・消防・教職員歓送迎会
- 16日… 会津耶麻町村議会議長会議
- 20日… 町体育協会総会
- 23日… 町観光協会総会
- 26日… 県町村議会議長会理事・監事会議
- 28日… 議会広報委員会
町文化団体連絡協議会総会
- 29日… 磐梯町消防団春季検閲

次回の定例会は6月中旬
に行われます。

ぜひ傍聴においでください。

手続きは、3階議場入口で住所と氏名
を記入だけです。

※くわしい日程は後日チラシにて
お知らせします。



表紙写真募集中！

「磐梯の四季、景色やできごと」題材は
自由です。ぜひご自慢の写真をお送り
ください。



問い合わせ
議会事務局

☎ 74 - 1219

編集後記

ようやく雪も解け春の陽気
となってきましたが、日本経
済は低迷を続け景気回復の兆
しが見えないのが現状です。
昨年9月に民主党政権が誕生
したが、半年あまりで支持率
30%台まで急落、2010年
度予算は成立したが、政権浮
揚効果は乏しい。

また、相変わらず政治資金
問題、さらには普天間基地の
移設問題も混迷しており、こ
のままですと国民の政治に対
する不信感が募るばかりであ
りますが、国民生活を第一に
考えてほしいものです。

最後に、広報委員会も町民
の方々に、議会たよりを讀ん
でいただけるように努力して
おりますので、今後ともご愛
読願います。

（文責 穴澤勝俊）

議会だより			発行責任者	
議長			穴澤 保	
広報委員会				
委員長	菅沼 一雄			
委員	佐藤 孝則	穴澤 勝俊		
委員	鈴木 久一			